

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生命の科学（生物）	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	生命活動の基礎	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	医学の基礎であるヒトの体の成り立ち、仕組み、はたらきを理解し「生化学」「生理学」の学習につなげていく	
教科書	医歯薬出版 生物学	
特記		
授業計画	1	生命の誕生、変遷
	2	生命をつくる物質
	3	細胞の一生と固体の成り立ち
	4	生殖によって子孫をつくる 遺伝と遺伝子
	5	発生して体をつくる 刺激の受容と反応①
	6	刺激の受容と反応② 内部環境を保つしくみ
	7	内臓の機能と免疫システム
	8	動物の行動と進化、総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	化学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	化学の基本的な知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	化学の基本的な知識を理解し専門基礎の「生化学」「生理学」の学習につなげていく	
教科書	医歯薬出版 化学	
特記		
授業計画	1	原子 原子の配置 原子のイオン化 元素の周期表
	2	化学結合・元素の性質
	3	化学結合・物質量
	4	結晶の種類
	5	化学量
	6	化学反応式
	7	化学反応式と物質量
	8	溶液・固体の溶解度
	9	酸・塩基
	10	金属のイオン化傾向
	11	酸化・還元反応（電池）
	12	物質の三態変化
	13	命名法・異性体について
	14	単糖・多糖・二糖類、アミノ酸
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生活文化論 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	社会学について理解し社会問題等について考える	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	基本的な社会学について理解し近年の社会問題等について考えることができるようにしていく	
教科書	ミネルヴァ書房 よくわかる社会学	
特記		
授業計画	1	ジェンダーとは TST
	2	ジェンダーという概念 性差観 MHFスケール
	3	性の多様性 ジェンダーアイデンティティ
	4	性別化得点算出 性の多様性（ジェンダーX）
	5	フェミニズム ジェンダーステレオタイプ ジェンダースキーマ
	6	BSRI
	7	社会化とジェンダー
	8	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生活文化論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	社会学の考えから生命科学と医療倫理の基本的な問題点	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	基本的な社会学の考えから生命科学と医療倫理の基本的な問題点をとらえていけるようにする	
教科書	ミネルヴァ書房 よくわかる社会学	
特記		
授業計画	1	クーリー・ミードの理論 セクシュアリティ
	2	自己（自我）について 自我と他者のコミュニケーション
	3	ポストモダンの考え方
	4	ポストモダンの発想と自己
	5	社会学の理念 社会学の全体構造ポストモダンと自己
	6	家族をめぐる社会学 夫婦・親子・核家族・脱近代家族 家族周期
	7	メディアと情報化をめぐる社会学 信頼
	8	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	人間関係 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	心理検査など通じて自分自身を理解し見つめる	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	心理検査などを通じて自分自身を理解し見つめていく	
教科書	ナカニシヤ出版 これからを生きる心理学	
特記		
授業計画	1	TST 私の人生設計 I
	2	人格と性格 性格類型論
	3	TAT
	4	防衛機制 P-Fスタディ
	5	ユング 向性指数
	6	心理的機能 パーソナリティ類型、心理学的タイプ論
	7	交流分析
	8	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	人間関係論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	自分自身を理解しさらに患者の心理世界への理解	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	自分自身を理解しさらに患者さんの心理世界への理解へとつなげていく	
教科書	ナカニシヤ出版 これからを生きる心理学	
特記		
授業計画	1	自己評価
	2	自我同一性
	3	自己表現 アニマ・アニムス
	4	マズローの自己表現 基本的対人態度測定インベントリー
	5	ホーナイ アサーティブチェックリスト 社会的スキル
	6	親子関係性 乳幼児期と母子関係 個体化理論 愛着理論
	7	ストレスとストレスコーピング
	8	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	情報処理	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	P Cの基本的な原理と操作方法、情報セキュリティー等	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習により、知識の定着を図る	
達成目標	PCの基本操作を学び、一般的な文書作成方法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	Wordの画面について
	2	文書の作成と管理
	3	ビジネス文書の作成（問題演習あり）
	4	演習
	5	レポートや報告書の作成
	6	表、図形、画像の基本
	7	演習
	8	演習
	9	表の編集、ワードアート①
	10	図形の編集 SmartArtの作成方法
	11	表の編集、ワードアート②
	12	図形の編集 SmartArtの作成方法
	13	演習
	14	演習
	15	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、実技試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英語	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	歯科診療に役立つ英語表現法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	英語の基礎を理解し歯科診療の様々な場面で役に立つ英語表現法を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科英語	
特記		
授業計画	1	歯と栄養
	2	米国の歯科医療保険
	3	外傷による脱落歯の応急処置
	4	口腔保健に関する国際目標
	5	インフォームドコンセント
	6	適切なブラッシング方法
	7	歯科でよく使われる鎮痛剤
	8	世界の歯科衛生士、総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	解剖・組織発生学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	人体の構造、組織に関する基本的知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	人体の構造、組織に関する基本的知識について習得する	
教科書	医歯薬出版 解剖学・組織発生学・生理学	
特記		
授業計画	1	上皮組織
	2	支持・筋・神経
	3	神経総論 脳神経
	4	消化吸収 食道
	5	胃・小腸・大腸
	6	肝臓・膵臓
	7	呼吸①
	8	呼吸②
	9	循環 血液
	10	心臓・胎児の循環系
	11	動脈系・静脈系・リンパ系
	12	排泄
	13	神経
	14	内分泌 生殖器
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	生理・口腔生理学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間（2単位）
授業回数	15回
授業概要	人体の機能、構成成分に関する基本的知識
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る
達成目標	人体の機能、構成成分に関する基本的知識について習得する 口腔の基本的な機能について習得する
教科書	医歯薬出版 解剖学・組織発生学・生理学、口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
特記	
授業計画	1 歯の感覚・味覚①
	2 歯の感覚・味覚②
	3 筋・骨・神経①
	4 筋・骨・神経②
	5 反射①
	6 反射②
	7 筋の種類①
	8 筋の種類②
	9 消化吸収①
	10 消化吸収②
	11 循環①
	12 循環②
	13 呼吸
	14 排泄
	15 総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	口腔解剖学 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	歯、口腔の構造と周囲組織、機能組成に関する基本的知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	歯、口腔の構造と周囲組織、機能組成に関する基本的知識について習得する	
教科書	医歯薬出版 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
特記		
授業計画	1	口腔解剖学 総論
	2	口腔付近の解剖学
	3	中切歯 側切歯
	4	犬歯 小臼歯
	5	第一・第二・第三大臼歯
	6	乳切歯 乳犬歯
	7	乳臼歯 永久歯との比較
	8	口腔顔面の骨
	9	口腔顔面の筋
	10	口腔顔面の神経
	11	口腔顔面の発生
	12	歯の発生・萌出
	13	脱落交換
	14	エナメル質 象牙質
	15	歯髄 セメント質 総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	口腔解剖学Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	歯、口腔の構造と周囲組織、機能組成に関する基本的知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	歯、口腔の構造と周囲組織、機能組成に関する基本的知識について習得する	
教科書	医歯薬出版 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
特記		
授業計画	1	総復習講義①
	2	総復習講義②
	3	総復習講義③
	4	総復習講義④
	5	問題演習
	6	問題演習
	7	問題演習
	8	問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、問題演習による得点の総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生化学・栄養学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	人体の栄養摂取の成り立ちと五大栄養素	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	人体の栄養摂取の成り立ちと五大栄養素について学び「食事指導法」の学習へつなげていく 食事がどのように生命の維持につながるのかを学ぶ	
教科書	医歯薬出版 栄養と代謝	
特記		
授業計画	1	生体構成成分
	2	糖質
	3	脂質 単純脂質
	4	脂質 複合脂質
	5	脂質 誘導脂質
	6	脂質 ステロール
	7	タンパク質
	8	核酸
	9	酵素
	10	ビタミン
	11	無機質（ミニテストあり）
	12	ホルモン 1
	13	ホルモン 2
	14	栄養 食事摂取基準 食生活と食品 食べ物と健康
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病理学・口腔病理学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	病因と病態及び口腔領域の先天性異常	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	病因と病態及び口腔領域の先天性異常についての知識を習得する 口腔領域の様々な疾患の基礎を学び、臨床歯科医学の学習へつなげる	
教科書	医歯薬出版 病理学・口腔病理学	
特記		
授業計画	1	病理学序論と病因論
	2	遺伝性疾患と奇形
	3	循環障害
	4	代謝障害と退行性病変
	5	増殖と修復
	6	炎症と免疫応答異常 腫瘍
	7	歯の発育異常
	8	歯の損傷と着色・付着物
	9	う蝕 象牙質・歯髄複合体の病態
	10	歯周組織の病態 口腔粘膜の病変
	11	口腔領域の嚢胞と腫瘍 口腔癌
	12	顎骨の病変 唾液腺の病変
	13	口腔領域の奇形
	14	口腔組織の加齢変化
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	微生物学・口腔微生物学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	感染と免疫と生体との関連	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	感染と免疫と生体との関連についての基礎知識を習得する 「病理学」「薬理学」の知識と関連付け、臨床歯科医学の学習につなげていく	
教科書	医歯薬出版 微生物学	
特記		
授業計画	1	疾病と微生物①
	2	疾病と微生物②
	3	微生物の病原性 総論①
	4	微生物の病原性 総論②
	5	微生物の病原性 各論
	6	微生物の病原性 細菌
	7	微生物の病原性 ウイルス
	8	まとめ①確認テスト①
	9	免疫機構 宿主防衛と免疫
	10	免疫機構 液性免疫
	11	免疫機構 細胞免疫
	12	口腔微生物
	13	口腔感染症
	14	化学療法
	15	まとめ②確認テスト②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	薬理学・口腔薬理学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	薬物の知識及び薬物の生体への作用等	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	薬物についての基礎知識及び薬物が及ぼす生体への作用等の知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 薬理学	
特記		
授業計画	1	薬物の作用 薬物動態 薬物の適用方法の種類と特徴 薬物の作用に影響を与える要因
	2	薬物の副作用 有害作用 医薬品を適用する際の注意 薬物の取り扱い 薬物の法律等
	3	末梢神経系に作用する薬物
	4	末梢神経系に作用する薬物
	5	中枢神経系に作用する薬物
	6	中枢神経系に作用する薬物
	7	循環器系に作用する薬物
	8	循環器系に作用する薬物
	9	腎臓に作用する薬物
	10	呼吸器系、消化器系に作用する薬物
	11	血液に作用する薬物 免疫と薬
	12	悪性腫瘍と薬 代謝性疾患治療薬
	13	ビタミンとホルモン 炎症と薬 痛みと薬
	14	局所麻酔薬 抗感染症薬
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	衛生学・公衆衛生学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部
履修年次	1年次
開講区分	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間（2単位）
授業回数	15回
授業概要	環境・社会と歯科口腔保健との関連性
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る
達成目標	環境・社会と歯科口腔保健との関連性について習得する 「歯科保健指導論」「口腔衛生学」「衛生行政・社会保障」の学習へとつなげていく
教科書	医歯薬出版 保健生態学
特記	
授業計画	1 総論
	2 疫学
	3 人口
	4 健康と環境
	5 感染症
	6 食品と健康
	7 地域保健・公衆衛生
	8 母子保健
	9 学校保健
	10 成人保険
	11 産業保健
	12 老人保健
	13 精神保健
	14 災害時の歯科保健
	15 国際保健、総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	口腔衛生学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間（2単位）
授業回数	15回
授業概要	歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る
達成目標	歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進についての知識を習得する 臨床歯科医学の学習へとつなげていく
教科書	医歯薬出版 保健生態学
特記	
授業計画	1 歯・歯列弓 歯の萌出時期 歯の種類と機能
	2 咬合（永久歯・乳歯） 歯の組織 歯の硬組織の成分 歯の形成及びその順序
	3 歯周組織 歯肉・粘膜の構造 舌の構造
	4 唾液腺と唾液 口腔の運動と咀嚼・嚥下 開口・閉口の筋運動
	5 歯・口腔の付着物（ペリクル・歯垢）
	6 歯・口腔の付着物（歯垢・歯石）
	7 口腔清掃
	8 う蝕予防
	9 う蝕病因論（keyseの病因論、Stephan curve）
	10 う蝕活動性試験
	11 予防の3相5段階
	12 フッ素の性状 フッ素の中毒 フッ素の全身応用 フッ素の局所応用
	13 フッ化物配合歯磨剤1
	14 フッ化物配合歯磨剤2
	15 総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	地域歯科保健・歯科保健統計
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部
履修年次	2年次
開講区分	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間（2単位）
授業回数	15回
授業概要	疫学と歯科保健統計及び地域歯科保健活動
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る
達成目標	疫学と歯科保健統計及び地域歯科保健活動に関する基本的知識について習得する 「衛生学・公衆衛生学」の知識と関連付け、「歯科保健指導論」「衛生行政・社会保障」の学習へとつなげていく
教科書	医歯薬出版 保健情報統計学
特記	
授業計画	1 除去と分数、比と率
	2 百分率と代表値
	3 指標と指数 う蝕経験 1
	4 指標と指数 う蝕経験 2
	5 DMF、DMF T
	6 歯周疾患の指数 総論 1
	7 歯周疾患の指数 総論 2
	8 歯周疾患の指数 PMA GI PI PDI
	9 歯周疾患の指数 G b c o u n t CPI
	10 歯・口腔清掃の指数 OHI OHI-S PII PHP PCR
	11 歯・口腔清掃の指数 CPIとフロリデーション1
	12 歯・口腔清掃の指数 CPIとフロリデーション2
	13 有病と罹患（抑制率） 疫学論 1
	14 有病と罹患（抑制率） 疫学論 2
	15 総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	衛生行政・社会保障	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	3年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	関連法規と制度	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	歯科衛生士に必要な関連法規と制度についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生士と法律・制度	
特記		
授業計画	1	総論①
	2	総論②
	3	歯科衛生士法①
	4	欠格事由について
	5	歯科医師法
	6	歯科技工士法
	7	歯科衛生士法② 保健師助産師看護師法との比較
	8	医療の動向
	9	社会保障
	10	社会保障 医療保険
	11	社会保障 労災保険
	12	社会保障 介護保険
	13	保健に関連する法規
	14	社会保険・社会保障の用語
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科衛生士概論	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	歯科衛生士業務、医療倫理、医療安全管理、チーム医療	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	歯科衛生士業務を实践するために必要な考え方、医療倫理、医療安全管理及びチーム医療についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学総論	
特記		
授業計画	1	歯科衛生学とは 歯科衛生と健康
	2	歯科衛生学とは 歯科衛生活動
	3	歯科衛生の歴史 誕生と経緯
	4	歯科衛生の歴史 役割と展望
	5	歯科衛生活動のための理論 予防の概念
	6	歯科衛生活動のための理論 歯科衛生の考え方 科学的思考
	7	歯科衛生過程とは
	8	歯科衛生過程の流れ
	9	歯科衛生士法と歯科衛生衛生業務
	10	関連法規
	11	歯科衛生士と医療倫理
	12	対象の自己決定権の尊重 インフォームド・コンセント
	13	歯科衛生士の活動と組織 歯科衛生活動の現況
	14	歯科衛生士と組織
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科保存学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	歯の硬組織疾患の原因と治療法及びそのメンテナンス	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	歯の硬組織疾患の種類と原因とその治療法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 保存修復・歯内療法	
特記		
授業計画	1	歯の保存療法の種類
	2	口腔検査
	3	保存修復の概論①
	4	保存修復の概論②
	5	保存修復の概論③
	6	保存修復の概論④
	7	直接法修復①
	8	直接法修復②
	9	間接法修復①
	10	間接法修復②
	11	保存修復における歯科衛生士の役割①
	12	保存修復における歯科衛生士の役割②
	13	実習 マトリックスバンド装着 セメント充填
	14	実習 セメント充填 レジン充填
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯内療法学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	歯、歯髄の疾患と原因とその治療法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	歯、歯髄の疾患と原因とその治療法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 保存修復・歯内療法	
特記		
授業計画	1	歯内療法の概論
	2	歯内療法の概論
	3	歯髄保存療法
	4	歯髄保存療法
	5	歯髄の除去療法
	6	歯髄の除去療法
	7	根管治療 根管充填
	8	実習 根管治療 根管充填
	9	外科的歯内療法
	10	外科的歯内療法
	11	歯の外傷
	12	歯の外傷
	13	歯内療法における安全対策
	14	歯内療法における歯科衛生士の役割
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯周治療学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	歯周組織の疾患とその原因、治療法及びメンテナンス	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	歯周組織の疾患とその原因、治療法及びメンテナンスについての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯周病学	
特記		
授業計画	1	正常な歯周組織の構造と機能
	2	歯周病の種類と原因 1
	3	歯周病の種類と原因 2
	4	歯周病の種類と原因 3
	5	正常な歯肉歯周病の分類まとめ 歯周病の原因まとめ
	6	歯周治療の進め方 1
	7	歯周治療の進め方 2
	8	歯周治療の進め方 3
	9	歯周検査 1
	10	歯周検査 2
	11	歯周検査 3
	12	歯周基本治療
	13	歯周外科
	14	メインテナンス
	15	スケーリング、SRP、シャープニング 総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科補綴学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	歯の欠損の原因と治療法及びそのメンテナンス	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	歯の欠損の原因と治療法及びそのメンテナンスについての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科補綴	
特記		
授業計画	1	歯科補綴の概要
	2	歯科補綴の基礎知識
	3	歯列と咬合
	4	補綴歯科治療における検査
	5	クラウン・ブリッジ治療の概要
	6	クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助
	7	全部床義歯治療の概要
	8	全部床義歯治療に関連する併発症とその対応
	9	部分床義歯治療の概要
	10	部分床義歯治療の流れと診療の補助
	11	インプラント治療の概要
	12	インプラント治療の流れと診療の補助
	13	特殊な口腔装置を用いる治療
	14	補綴歯科治療における器材の管理
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	発達歯科学（小児歯科）	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	小児歯科についての理解と関連する疾病、疾患及びその治療法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	小児歯科についての理解と関連する疾病、疾患及びその治療法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 小児歯科	
特記		
授業計画	1	小児歯科の基礎知識 概論
	2	顔面頭蓋の発育 心身の発育 歯の発育とその異常 小児の生理的特徴
	3	歯列・咬合の発育と異常
	4	小児の歯科疾患
	5	小児期の特徴と歯科的問題点①
	6	小児歯科診療について
	7	小児期の特徴と歯科的問題点②
	8	患者との対応法
	9	診療体系 障害児の歯科診療
	10	小児歯科における歯科衛生士の役割 診療・検査時の業務
	11	う蝕予防 診療補助
	12	小児の口腔保健管理①
	13	小児の口腔保健管理②
	14	総まとめ①
	15	総まとめ②、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	口腔外科学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	顎、口腔領域の疾患についてとその治療法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	顎、口腔領域の疾患についてとその治療法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 口腔外科・歯科麻酔	
特記		
授業計画	1	口腔外科の概要
	2	顎口腔領域の先天異常
	3	転位歯
	4	外傷と疾患
	5	顎関節病変
	6	口腔粘膜の病変
	7	赤血球系の疾患
	8	顎骨の炎症
	9	腫瘍の分類と代表的な腫瘍
	10	エナメル上皮腫
	11	口腔外科診療の実際 1
	12	口腔外科診療の実際 2
	13	救急蘇生法 1
	14	救急蘇生法 2
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科矯正学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部
履修年次	2年次
開講区分	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業回数	15回
授業概要	顎、顔面の成長及び不正咬合の理解とその治療法
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る
達成目標	顎、顔面の成長及び不正咬合の理解とその治療法についての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科矯正 医歯薬出版 小児歯科
特記	
授業計画	1 矯正歯科治療の概要
	2 成長発育
	3 正常咬合
	4 不正咬合
	5 診断学①
	6 診断学②
	7 矯正歯科治療と「力」①
	8 矯正歯科治療と「力」②
	9 矯正装置①
	10 矯正装置②
	11 矯正歯科治療の実際① 顎の前後的關係の不調和
	12 矯正歯科治療の実際② 顎の垂直的關係の不調和 成人矯正 形成異常と変形
	13 矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割
	14 矯正歯科患者と口腔保健管理 口腔機能療法
	15 器材・資料・文書の管理 総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	高齢者口腔保健学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	高齢者歯科の理解と関連する疾患とその治療法及びリハビリテーション	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	高齢者歯科の理解と関連する疾患とその治療およびリハビリテーションについての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 高齢者歯科 障害者歯科	
特記		
授業計画	1	高齢者をとりまく社会と環境
	2	加齢による身体的・精神的変化と疾患
	3	高齢者の状態の把握
	4	口腔ケア
	5	摂食嚥下リハビリテーション
	6	高齢者に関わる医療と介護
	7	高齢者における歯科衛生過程
	8	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	障害者口腔保健学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	障害者歯科の理解と関連する疾患とその治療法及びリハビリテーション	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	障害者歯科の理解と関連する疾患とその治療およびリハビリテーションについての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 高齢者歯科 障害者歯科	
特記		
授業計画	1	障害者歯科とは
	2	障害者歯科に関わる法律
	3	障害の特徴と歯科的対応
	4	障害の種類と歯科的特徴
	5	障害者と薬剤
	6	障害の種類と特徴
	7	摂食嚥下障害
	8	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科予防処置論 I
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部
履修年次	1年次
開講区分	通年
科目区分	必修
授業方法	講義及び実習
授業時間	60時間（2単位）
授業回数	30回
授業概要	歯科予防処置の概念と基本的な知識
授業の進め方	テキスト講義と問題演習、実技実習等により知識の定着を図る
達成目標	歯科予防処置の概念と基本的な知識を習得する 歯石除去の基本操作と使用器具についての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論
特記	
授業計画	1 歯科予防処置論の概要 定義・法的な位置づけ
	2 歯科予防処置論の概要 予防の概念
	3 口腔の基礎知識 正常な口腔 歯周組織①
	4 口腔の基礎知識 正常な口腔 歯周組織②
	5 口腔の基礎知識 歯冠と歯根の形態①
	6 口腔の基礎知識 歯冠と歯根の形態②
	7 歯周病の基礎知識 口腔内の付着物・沈着物①
	8 歯周病の基礎知識 口腔内の付着物・沈着物②
	9 歯周病の基礎知識 歯周病①
	10 歯周病の基礎知識 歯周病②
	11 口腔内の情報収集 口腔内の観察
	12 口腔内の情報収集 検査
	13 歯科衛生介入のための歯科予防処置 スケーリング
	14 手用スケーラーの知識①
	15 手用スケーラーの知識②
	16 マネキンの取り扱い
	17 ポジショニング
	18 上顎前歯部唇側面マネキン実習
	19 下顎前歯部唇側面マネキン実習
	20 上顎前歯部口蓋側面マネキン実習
	21 下顎前歯部舌側面マネキン実習
	22 上下顎右側臼歯部 中央部 マネキン実習
	23 上下顎左側臼歯部 中央部 マネキン実習
	24 上顎前歯部 人工歯石マネキン実習
	25 下顎前歯部 人工歯石マネキン実習
	26 シャープニングの基礎知識①
	27 シャープニングの基礎知識②
	28 シックルスケーラーのシャープニング
	29 シックルスケーラーのシャープニング
	30 総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、実技評価、単位認定試験による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科予防処置論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業回数	30回	
授業概要	歯・口腔の健康状態を把握、歯周組織検査、予防処置使用器具の基本的操作法	
授業の進め方	テキスト講義と問題演習、実技実習等により知識の定着を図る	
達成目標	歯・口腔の健康状態を把握し歯周組織検査、予防処置使用器具の基本操作法を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論	
特記		
授業計画	1	シックルスケーラー マネキン実技試験
	2	シックルスケーラー マネキン実技試験
	3	相互実習オリエンテーション
	4	軟組織損傷、薬物、目に汚物が入ったときの予防と対応
	5	口腔内観察 相互実習
	6	口腔内観察 相互実習
	7	上顎前歯部 エキスプローラー操作
	8	下顎前歯部 エキスプローラー操作
	9	プローブの基礎知識
	10	プローピング 相互実習
	11	口腔内観察 相互実習
	12	シックルスケーリング 相互実習
	13	キュレットスケーラーの基礎知識①
	14	キュレットスケーラーの基礎知識②
	15	キュレットスケーラーの基本操作①
	16	キュレットスケーラーの基本操作②
	17	上下前歯部 マネキン実習
	18	上顎右側臼歯部 マネキン実習
	19	上顎左側臼歯部 マネキン実習
	20	下顎右側臼歯部 マネキン実習
	21	下顎左側臼歯部 マネキン実習
	22	キュレットスケーラーのシャープニング
	23	キュレットスケーラーのシャープニング
	24	歯面研磨についての基礎知識①
	25	歯面研磨についての基礎知識②
	26	洗浄・貼薬についての基礎知識①
	27	洗浄・貼薬についての基礎知識②
	28	歯面研磨 マネキン実習
	29	歯面研磨 相互実習
	30	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、実技評価、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	歯科予防処置論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部		
履修年次	3年次		
開講区分	通年		
科目区分	必修		
授業方法	講義及び実習		
授業時間	90時間（3単位）		
授業回数	45回		
授業概要	対象者別の予防処置の計画を立案・実行、操作する		
授業の進め方	テキスト講義と問題演習、実技実習等により知識の定着を図る		
達成目標	対象者別の予防処置の計画を立案・実行、操作することができるようになる		
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論		
特記			
授業計画	1	下顎右側臼歯部 頬側 マネキン実習	31 マネキン実習
	2	下顎左側臼歯部 舌側 マネキン実習	32 マネキン実習
	3	下顎左側臼歯部 頬側 マネキン実習	33 スケーリング 相互実習
	4	下顎右側臼歯部 舌側 マネキン実習	34 スケーリング 相互実習
	5	上顎右側臼歯部 頬側 マネキン実習	35 手用スケーラーのシャープニング①
	6	上顎左側臼歯部 口蓋側 マネキン実習	36 スケーリング 相互実習
	7	上顎左側臼歯部 頬側 マネキン実習	37 スケーリング 相互実習
	8	上顎右側臼歯部 口蓋側 マネキン実習	38 スケーリング 相互実習
	9	キュレットスケーラーのシャープニング	39 スケーリング 相互実習
	10	キュレットスケーラー 相互実習	40 手用スケーラーのシャープニング②
	11	キュレットスケーラー 相互実習	41 スケーリング 相互実習
	12	キュレットスケーラー 相互実習	42 スケーリング 相互実習
	13	キュレットスケーラー 相互実習	43 スケーリング 相互実習
	14	超音波スケーラーの基礎知識①	44 スケーリング 相互実習（ミニテストあり）
	15	超音波スケーラーの基礎知識②	45 総まとめ、確認テスト
	16	エアースケーラーの基礎知識①	
	17	エアースケーラーの基礎知識②	
	18	超音波スケーラー 相互実習	
	19	エアースケーラー 相互実習	
	20	歯面清掃器についての基礎知識①	
	21	歯面清掃器についての基礎知識②	
	22	歯面清掃器 マネキン実習	
	23	歯面清掃器 相互実習	
	24	歯面清掃器 相互実習	
	25	PMT Cについての基礎知識①	
	26	PMT Cについての基礎知識②	
	27	PMT Cについてのマネキン実習	
	28	PMT C 相互実習	
	29	臨床実習とは①	
	30	臨床実習とは②	
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点、ミニテスト、実技評価、単位認定試験による総合評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	う蝕予防処置	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	う蝕の基礎知識と予防法について学びその技術	
授業の進め方	テキスト講義と問題演習、実技実習等により知識の定着を図る	
達成目標	う蝕の基礎知識と予防法について学びその技術を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法	
特記		
授業計画	1	う蝕予防処置法とは 齲蝕の疫学 う蝕予防処置法における歯科衛生士の役割
		う蝕予防処置法実習にあたっての注意
	2	う蝕発生メカニズム 初期う蝕と再石灰
		う蝕活動性試験の知識
	3	う蝕活動性試験の実習 ＊カリオスタット ＊RDテスト
		フッ化物によるう蝕予防機序 フッ素の代謝 フッ素の中毒
	4	フッ化物応用によるう蝕予防方法 ライフステージに応じたフッ化物応用
		う蝕予防措置法を実施するための注意事項
	5	フッ化物局所応用法
		フッ化物溶液局所塗布法のアウトライン う蝕予防効果について予防率の求め方
	6	フッ化物溶液の味の確認 綿球中のフッ素量 イオントレーに含まれる溶液量
		フッ化物塗布の相互実習（綿球法）
	7	フッ化物塗布の相互実習（スポンジトレー法）
		鍍銀法：フッ化ジアンミン銀の応用
	8	小窩裂溝填塞法
		フッ化ジアンミン銀の抜去歯牙への塗布実習
	9	フッ化ジアンミン銀の手指および布への着色 脱色実習
		フッ化ジアンミン銀塗布相互実習
	10	マネキンでの小窩裂溝填塞実習
		小窩裂溝填塞法の相互実習
	11	う蝕予防処置の一般的な注意
		う蝕予防処置集団応用と公衆歯科衛生活動における現場活動
	12	集団応用に用いられるう蝕予防処置法
		集団応用実施の器材・薬剤の準備
	13	フッ化物洗口法
		実習にあたっての予備知識
	14	机上実習とロールプレイング
		集団応用実施例
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点、ミニテスト、実技評価、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科保健指導論 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業回数	30回	
授業概要	健康と疾病の概念、健康増進・維持の知識・技術	
授業の進め方	テキスト講義と問題演習、実技実習等により知識の定着を図る	
達成目標	健康と疾病の概念の理解と口腔の健康増進・維持のための知識・技術を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論	
特記		
授業計画	1	保健指導論の概要
	2	刷掃法の基本
	3	毛先を使ったブラッシング法①
	4	毛先を使ったブラッシング法②
	5	わき腹を使ったブラッシング法①
	6	わき腹を使ったブラッシング法②
	7	電動歯ブラシ
	8	歯磨剤の知識
	9	洗口剤の基礎知識
	10	デンタルフロス 基礎知識
	11	デンタルフロス 使い方
	12	その他の清掃補助用具 基礎知識
	13	その他の清掃補助用具 使い方
	14	口腔清掃まとめ①
	15	口腔清掃まとめ②
	16	口腔清掃実習① 口腔清掃実習②
	17	歯垢染色
	18	P C R
	19	データ分析の実習 染色① 染色②
	20	データ分析の実習 P C R① P C R②
	21	保健指導論に関する基礎知識 総論
	22	保健指導論に関する基礎知識 摂食嚥下の過程
	23	歯科衛生過程の概要①
	24	歯科衛生過程の概要②
	25	情報収集
	26	医療面接
	27	分析のためのデータ O H I
	28	分析のためのデータ O H I - S
	29	総まとめ①
	30	総まとめ②、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、実技評価、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科保健指導論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業回数	30回	
授業概要	対象別（ライフステージ別）の口腔衛生指導・メンテナンス	
授業の進め方	テキスト講義と問題演習、実技実習等により知識の定着を図る	
達成目標	対象別（ライフステージ別）の口腔衛生指導・メンテナンスについての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論	
特記		
授業計画	1	2年の授業の概要説明
	2	1年時の復習
	3	指数 プラーク・歯石の指数①
	4	指数 プラーク・歯石の指数②
	5	歯周疾患の指数①
	6	歯周疾患の指数
	7	その他の指数
	8	指数 まとめ
	9	ライフステージにおける歯科衛生介入とは
	10	妊娠婦期
	11	新生児期・乳幼児期
	12	幼児期
	13	学齢期
	14	青年期
	15	成人期
	16	老年期
	17	要介護高齢者
	18	障害者
	19	ライフステージまとめ
	20	口腔観察実習
	21	保健指導実習
	22	行動変容理論 総論
	23	行動変容理論
	24	行動変容理論 禁煙指導
	25	S O A P式記録
	26	S O A P式記録実践
	27	歯科衛生過程演習①（グループワーク）
	28	歯科衛生過程演習②（グループワーク）
	29	総まとめ①
	30	総まとめ②、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、実技評価、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	歯科保健指導論Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部			
履修年次	3年次			
開講区分	前期			
科目区分	必修			
授業方法	講義及び実習			
授業時間	90時間（3単位）			
授業回数	45回			
授業概要	集団保健指導			
授業の進め方	テキストによる講義とロールプレイングを中心としたグループ学習により、知識の定着を図る			
達成目標	集団保健指導を行うにあたっての計画立案・準備・実施の課程を習得する			
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論			
特記				
授業計画	1	小集団指導法	31	媒体講話作成・発表
	2	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	32	媒体講話作成・発表
	3	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	33	媒体講話作成・発表
	4	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	34	ロールプレイング
	5	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	35	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成
	6	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	36	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成
	7	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	37	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成
	8	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	38	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成
	9	媒体講話作成・発表	39	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成
	10	媒体講話作成・発表	40	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成
	11	媒体講話作成・発表	41	媒体講話作成・発表
	12	ロールプレイング	42	媒体講話作成・発表
	13	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	43	媒体講話作成・発表
	14	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	44	ロールプレイング
	15	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	45	小学校・幼稚園での実践
	16	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
	17	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
	18	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
	19	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
	20	媒体講話作成・発表		
	21	媒体講話作成・発表		
	22	媒体講話作成・発表		
	23	ロールプレイング		
	24	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
	25	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
	26	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
	27	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
	28	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
	29	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
	30	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成		
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、制作物完成度合、授業への参加姿勢を総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	食事指導法	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	対象者別に食生活指導を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	口腔保健と生活習慣の関連についてと栄養について理解し対象者別に食生活指導を行うための知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 栄養と代謝	
特記		
授業計画	1	食をとりまく環境 国民健康栄養調査
	2	現在の食の問題点 肥満・脂肪摂取量
	3	現在の食の問題点 食塩・野菜・カルシウム 食事バランスガイド
	4	食育基本法 食生活指針
	5	五大栄養素 糖質・脂質・タンパク質
	6	五大栄養素 ビタミン・ミネラル
	7	バランスの良い食事献立作成
	8	食生活のマネジメント
	9	食事記録→食事指導 保健機能食品
	10	喫煙指導 シュガーコントロール
	11	ライフステージ 妊産婦期
	12	新生児期・乳児期 幼児期
	13	学齢期 青年期
	14	成人期 老年期
	15	要介護高齢者 障害者、総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	口腔リハビリテーション論	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	3年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	口腔機能管理の意義と目的、リハビリテーションについての知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	口腔機能管理の意義と目的を知り全身疾患との関連の理解とリハビリテーションについての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション	
特記		
授業計画	1	総論①
	2	総論②
	3	摂食嚥下のメカニズム①
	4	摂食嚥下のメカニズム②
	5	小児摂食嚥下のメカニズム
	6	障害及びケアプロセス①
	7	障害及びケアプロセス②
	8	検査
	9	間接訓練①
	10	間接訓練②
	11	直接訓練①
	12	直接訓練②
	13	臨床での応用
	14	総まとめ①
	15	総まとめ②、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科診療補助論 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業回数	30回	
授業概要	歯科診療補助の基礎、基本的な技術	
授業の進め方	テキスト講義と問題演習、実技実習等により知識の定着を図る	
達成目標	歯科診療における診療補助の基礎、基本的な技術を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科診療補助論	
特記		
授業計画	1	歯科診療補助の概要と意義
	2	歯科衛生士法における法的位置づけ
	3	診療補助と診療解除の違い
	4	歯科診療補助の流れ
	5	医療安全とは
	6	歯科医療における感染症の概念
	7	感染症と感染予防策
	8	標準予防策
	9	医療従事者としての対応
	10	診療室・診療機器の感染予防
	11	手指消毒と分類・基本的手法
	12	手指消毒と分類・基本的手法実習
	13	グローブの付け方外し方
	14	グローブの付け方外し方実習
	15	滅菌消毒洗浄の定義
	16	滅菌法・滅菌のモニタリング
	17	滅菌・消毒の準備実習
	18	滅菌・洗浄の実習
	19	滅菌時の注意 偶発時の対応
	20	廃棄物の概要
	21	歯科診療室で発生する廃棄物
	22	歯科診療室の環境
	23	薬品・材料の管理
	24	共同作業の概念
	25	共同作業の方法実習
	26	ポジショニング・ライティング
	27	患者誘導
	28	ポジショニング・ライティング実習
	29	衛生材料
	30	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、実技評価、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科診療補助論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部
履修年次	2年次
開講区分	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び実習
授業時間	30時間（1単位）
授業回数	15回
授業概要	臨床に対応し得る歯科診療補助技術を習得する
授業の進め方	テキスト講義と問題演習、実技実習等により知識の定着を図る
達成目標	歯科診療補助、介助について臨床に対応し得る技術を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科診療補助論
特記	
授業計画	1 衛生材料実習 綿球 ロールワッテ カット綿 小折ガーゼ作成
	2 口腔内洗浄・バキューム
	3 口腔内洗浄・バキューム実習
	4 歯の切削時におけるバキューム実習
	5 歯科材料の基礎知識
	6 印象材の分類
	7 印象材の取り扱い
	8 アルジネート印象材実習
	9 連合印象実習
	10 合成ゴム質印象材・その他の印象材
	11 模型用材料
	12 石膏模型作成実習
	13 合着材・印象材の基礎知識
	14 合着材実習 接着性レジンセメント実習
	15 総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、実技評価、単位認定試験による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	歯科診療補助論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部		
履修年次	3年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義及び実習		
授業時間	90時間（3単位）		
授業回数	45回		
授業概要	臨床での対応応力を習得の計画立案・準備・実施		
授業の進め方	テキスト講義と問題演習、実技実習等により知識の定着を図る		
達成目標	基本的技術の反復習熟を行い臨床での対応応力を習得する		
教科書	医歯薬出版 歯科診療補助論		
特記			
授業計画	1	歯科臨床と診療補助	31 印象採得実習
	2	保存修復治療の診療補助の特徴	32 模型の作成実習
	3	直接修復	33 合着・接着材の基礎知識
	4	間接修復	34 成形歯冠修復材の種類
	5	漂白法（オフィスブリーチング）	35 仮封材の種類
	6	歯内療法時の診療補助の特徴	36 主な全身疾患の基礎知識
	7	歯髄処置（麻酔抜髄）	37 歯科治療時の注意事項①
	8	根管処置（根管充填）	38 歯科治療時の注意事項②
	9	歯周外科治療と診療補助の特徴	39 周術期における口腔機能管理
	10	歯周外科治療時の業務	40 歯科訪問診療における対応
	11	補綴治療の例と診療補助の特徴	41 口腔機能管理の意義と目的
	12	遊離端部分床義歯	42 摂食嚥下障害と対応
	13	クラウン・ブリッジ	43 ライフステージに対応した指導
	14	インプラント	44 総まとめ①
	15	口腔外科治療時の診療補助の特徴	45 総まとめ②、確認テスト
	16	抜歯時の業務	
	17	普通抜歯	
	18	難抜歯	
	19	歯科麻酔時の診療補助の特徴	
	20	局所麻酔の基礎知識	
	21	吸入鎮静・静脈内鎮静の例と診療補助の特徴	
	22	全身麻酔での診療補助の流れ	
	23	全身麻酔の概要	
	24	矯正歯科治療時の診療補助	
	25	矯正治療における患者指導	
	26	口腔機能療法（MFT）の診療補助	
	27	小児の診療と診療補助の特徴	
	28	診療時の配慮	
	29	小児の対応法	
	30	ラバーダム防湿実習	
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点、ミニテスト、実技評価、単位認定試験による総合評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	感染予防法	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	医療安全管理について理解し感染対策の定義・方法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	医療安全管理について理解し感染対策の定義・方法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 新・歯科医療における感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄	
特記		
授業計画	1	感染予防対策の基本 1
	2	感染予防対策の基本 2
	3	歯科診療における感染予防対策の実際 1
	4	歯科診療における感染予防対策の実際 2
	5	総論の復習
	6	滅菌・消毒・洗浄の基本 1
	7	滅菌・消毒・洗浄の基本 2
	8	滅菌の基本
	9	消毒の基本
	10	洗浄の基本
	11	消毒・洗浄の基本と実際
	12	医療従事者の感染予防対策
	13	感染性廃棄物の処理
	14	総まとめ①
	15	総まとめ②、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	臨床検査法	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	臨床検査の目的・倫理、検査の種類と検査値の評価	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	一般臨床検査の目的・倫理と安全について理解し検査の種類と検査値の評価についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 臨床検査	
特記		
授業計画	1	臨床検査とは 検体の種類
	2	検査の種類
	3	検査成績の読み方 基準値・変動要因
	4	生体検査
	5	脈拍と血圧
	6	心機能
	7	肺機能・筋電図・脳波・血中酸素濃度
	8	検体検査①
	9	検体検査②
	10	検体検査③
	11	病態別検査値のとりえ方 1
	12	病態別検査値のとりえ方 2
	13	病態別検査値のとりえ方 3
	14	総まとめ①
	15	総まとめ②、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	救急法・救急蘇生法	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	救急救命処置について習得	
授業の進め方	テキスト講義と問題演習、実技実習等により知識の定着を図る	
達成目標	全身管理とモニタリングバイタルサインについて理解し、救急救命処置について習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科医院のためのAHAガイドライン2020に沿った一次救命処置	
特記		
授業計画	1	救急蘇生法総論 一次救命処置
	2	B L S 循環器について
	3	小児B L S ショック
	4	バイタルサイン
	5	一次救命処置実習
	6	バイタルサイン実習
	7	実技試験
	8	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、実技評価、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科放射線学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	放射線の知識、使用器具、撮影法、写真処置と画像管理	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	放射線についての理解、使用器具、撮影法、写真処置と画面管理について習得する X線撮影時の歯科衛生士の役割を学ぶ	
教科書	医歯薬出版 歯科放射線	
特記		
授業計画	1	放射線総論①
	2	放射線総論②
	3	X線の発生
	4	X線の性質
	5	X線写真の幾何学的要因①
	6	X線写真の幾何学的要因②
	7	撮影法 口内法
	8	撮影法 口外法
	9	感光材料①
	10	感光材料②
	11	放射線障害
	12	放射線防護
	13	撮影実習 デンタル
	14	撮影実習 パノラマ
	15	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	臨地実習 I	
実務家教員	○	
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（2単位）	
授業回数	12回	
授業概要	業務の実践に必要な知識・技術・能力を養う	
授業の進め方	歯科医院の指導を基により実践的な知識と技術を学ぶ	
達成目標	実践的な知識と技術を習得する	
教科書		
特記	臨床実習施設における指導教員は、歯科衛生に関し相当の経験を有する歯科医師又は歯科衛生士	
授業計画	1	臨地実習
	2	臨地実習
	3	臨地実習
	4	臨地実習
	5	臨地実習
	6	臨地実習
	7	臨地実習
	8	臨地実習
	9	臨地実習
	10	臨地実習
	11	臨地実習
	12	臨地実習
成績評価方法 (試験実施方法)	実習評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	臨地実習Ⅱ			
実務家教員	○			
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	405時間（9単位）			
授業回数	51回			
授業概要	業務の実践に必要な知識・技術・能力を養う			
授業の進め方	歯科医院の指導を基により実践的な知識と技術を学ぶ			
達成目標	実践的な知識と技術を習得する			
教科書				
特記	臨床実習施設における指導教員は、歯科衛生に関し相当の経験を有する歯科医師又は歯科衛生士			
授業計画	1	臨地実習	31	臨地実習
	2	臨地実習	32	臨地実習
	3	臨地実習	33	臨地実習
	4	臨地実習	34	臨地実習
	5	臨地実習	35	臨地実習
	6	臨地実習	36	臨地実習
	7	臨地実習	37	臨地実習
	8	臨地実習	38	臨地実習
	9	臨地実習	39	臨地実習
	10	臨地実習	40	臨地実習
	11	臨地実習	41	臨地実習
	12	臨地実習	42	臨地実習
	13	臨地実習	43	臨地実習
	14	臨地実習	44	臨地実習
	15	臨地実習	45	臨地実習
	16	臨地実習	46	臨地実習
	17	臨地実習	47	臨地実習
	18	臨地実習	48	臨地実習
	19	臨地実習	49	臨地実習
	20	臨地実習	50	臨地実習
	21	臨地実習	51	臨地実習
	22	臨地実習		
	23	臨地実習		
	24	臨地実習		
	25	臨地実習		
	26	臨地実習		
	27	臨地実習		
	28	臨地実習		
	29	臨地実習		
	30	臨地実習		
成績評価方法 (試験実施方法)	実習評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	臨地実習Ⅲ			
実務家教員	○			
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部			
履修年次	3年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	405時間（9単位）			
授業回数	51回			
授業概要	業務の実践に必要な知識・技術・能力を養う			
授業の進め方	歯科医院の指導を基により実践的な知識と技術を学ぶ			
達成目標	実践的な知識と技術を習得する			
教科書				
特記	臨床実習施設における指導教員は、歯科衛生に関し相当の経験を有する歯科医師又は歯科衛生士			
授業計画	1	臨地実習	31	臨地実習
	2	臨地実習	32	臨地実習
	3	臨地実習	33	臨地実習
	4	臨地実習	34	臨地実習
	5	臨地実習	35	臨地実習
	6	臨地実習	36	臨地実習
	7	臨地実習	37	臨地実習
	8	臨地実習	38	臨地実習
	9	臨地実習	39	臨地実習
	10	臨地実習	40	臨地実習
	11	臨地実習	41	臨地実習
	12	臨地実習	42	臨地実習
	13	臨地実習	43	臨地実習
	14	臨地実習	44	臨地実習
	15	臨地実習	45	臨地実習
	16	臨地実習	46	臨地実習
	17	臨地実習	47	臨地実習
	18	臨地実習	48	臨地実習
	19	臨地実習	49	臨地実習
	20	臨地実習	50	臨地実習
	21	臨地実習	51	臨地実習
	22	臨地実習		
	23	臨地実習		
	24	臨地実習		
	25	臨地実習		
	26	臨地実習		
	27	臨地実習		
	28	臨地実習		
	29	臨地実習		
	30	臨地実習		
成績評価方法 (試験実施方法)	実習評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	介護技術の基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	介護技術の基礎を身に付ける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	介護技術の全般を学び要介護者が主体性を維持できるよう基礎を身に付ける	
教科書	中央法規出版 介護福祉士実務者研修テキスト第2巻	
特記		
授業計画	1	職業倫理
	2	人間の尊厳
	3	コミュニケーション技術①
	4	コミュニケーション技術②
	5	高齢者に多い病気
	6	認知症の理解
	7	整容の介護
	8	移乗移動動作 車椅子、総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	介護技術の基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	介護技術の基礎を身に付ける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	介護技術の全般を学び要介護者が主体性を維持できるよう基礎を身に付ける	
教科書	中央法規出版 介護福祉士実務者研修テキスト第2巻	
特記		
授業計画	1	食事、口腔ケア
	2	入浴・清潔保持の介護
	3	排泄の介護
	4	居住・環境整備概論
	5	福祉用具。介護用ベッド
	6	総まとめ①
	7	効果測定
	8	総まとめ②、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	介護技術の応用 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	役割を理解しADLの自立性の向上、個別性の尊重、自己決定の尊重を意識して質の高い介護	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	介護の役割を深く理解しADLの自立性の向上、個別性の尊重、自己決定の尊重を意識して質の高い介護が行えるようになる	
教科書	中央法規出版 介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	
特記		
授業計画	1	介護者の職業倫理①
	2	介護者の職業倫理②
	3	ベッドメイキング
	4	移動・移乗動作
	5	移乗方法
	6	車椅子の移乗・移動・段差越え
	7	歩行介助・杖歩行・段差のぼり降り
	8	脱衣・着衣 総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	介護技術の応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	役割を理解しADLの自立性の向上、個別性の尊重、自己決定の尊重を意識して質の高い介護	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	介護の役割を深く理解しADLの自立性の向上、個別性の尊重、自己決定の尊重を意識して質の高い介護が行えるようになる	
教科書	中央法規出版 介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	
特記		
授業計画	1	脱衣着衣とシャワー浴
	2	食事介助
	3	トイレ介助
	4	おむつ交換①
	5	おむつ交換②
	6	車いす移動効果測定
	7	車いす移動効果測定
	8	総まとめ、確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	サービス接遇 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	サービス接遇の基礎知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	秘書検定3級合格を目指す	
教科書	実務技能検定協会 秘書検定3級集中講義、秘書検定3級実問題集	
特記		
授業計画	1	必要とされる資質
	2	秘書の機能と役割
	3	企業の基礎知識
	4	社会常識
	5	マナー、接遇
	6	会議と秘書の業務
	7	総まとめ、確認テスト
	8	秘書検定試験対策
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、ミニテスト、単位認定試験による総合評価または秘書検定3級合格	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	サービス接遇Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	3年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業回数	8回	
授業概要	社会人に必要なビジネスマナー	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	社会人に必要なビジネスマナーを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	社会人マナー
	2	冠婚葬祭マナー
	3	贈答マナー
	4	会食マナー
	5	時事研究・グループ討議①
	6	時事研究・グループ討議②
	7	時事研究・グループ討議③
	8	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点、授業への参加姿勢による総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	一般常識、漢字検定3級	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	一般常識、漢字を中心に基礎学力の習得を図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	漢字検定練習問題
	2	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	3	漢字検定練習問題
	4	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	5	漢字検定練習問題
	6	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	7	漢字検定練習問題
	8	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	9	漢字検定練習問題
	10	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	11	漢字検定練習問題
	12	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	13	漢字検定 3 級項目別答練
	14	漢字検定 3 級直前答練
	15	漢字検定 3 級直前答練
成績評価方法 (試験実施方法)	漢字検定確認テストまたは、漢字検定3級合格	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスⅡ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	一般常識、漢字検定2級	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	一般常識、漢字を中心に基礎学力の習得を図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	漢字検定練習問題
	2	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	3	漢字検定練習問題
	4	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	5	漢字検定練習問題
	6	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	7	漢字検定練習問題
	8	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	9	漢字検定練習問題
	10	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	11	漢字検定練習問題
	12	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	13	漢字検定 2 級項目別答練
	14	漢字検定 2 級直前答練
	15	漢字検定 2 級直前答練
成績評価方法 (試験実施方法)	漢字検定確認テストまたは、漢字検定2級合格	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスⅢ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	3年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業回数	15回	
授業概要	一般常識、漢字検定1級	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習等により、知識の定着を図る	
達成目標	一般常識、漢字を中心に基礎学力の習得を図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	漢字検定練習問題
	2	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	3	漢字検定練習問題
	4	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	5	漢字検定練習問題
	6	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	7	漢字検定練習問題
	8	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	9	漢字検定練習問題
	10	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	11	漢字検定練習問題
	12	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	13	漢字検定1級項目別答練
	14	漢字検定1級直前答練
	15	漢字検定1級直前答練
成績評価方法 (試験実施方法)	漢字検定確認テストまたは、漢字検定1級合格	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	卒業研究		
実務家教員			
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部		
履修年次	3年次		
開講区分	通年		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	150時間（10単位）		
授業回数	75回		
授業概要	歯科衛生国家試験対策		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	3年間の学習の振り返りを行い学習理解をより深めるとともに歯科衛生国家試験対策を行う		
教科書			
特記			
授業計画	1	国家試験対策授業1, 2	41 国家試験対策授業81, 82
	2	国家試験対策授業3, 4	42 国家試験対策授業83, 84
	3	国家試験対策授業5, 6	43 国家試験対策授業85, 86
	4	国家試験対策授業7, 8	44 国家試験対策授業87, 88
	5	国家試験対策授業9, 10	45 国家試験対策授業89, 90
	6	国家試験対策授業11, 12	46 国家試験対策授業91, 92
	7	国家試験対策授業13, 14	47 国家試験対策授業93, 94
	8	国家試験対策授業15, 16	48 国家試験対策授業95, 96
	9	国家試験対策授業17, 18	49 国家試験対策授業97, 98
	10	国家試験対策授業19, 20	50 国家試験対策授業99, 100
	11	国家試験対策授業21, 22	51 国家試験対策授業101, 102
	12	国家試験対策授業23, 24	52 国家試験対策授業103, 104
	13	国家試験対策授業25, 26	53 国家試験対策授業105, 106
	14	国家試験対策授業27, 28	54 国家試験対策授業107, 108
	15	国家試験対策授業29, 30	55 国家試験対策授業109, 110
	16	国家試験対策授業31, 32	56 国家試験対策授業111, 112
	17	国家試験対策授業33, 34	57 国家試験対策授業113, 114
	18	国家試験対策授業35, 36	58 国家試験対策授業115, 116
	19	国家試験対策授業37, 38	59 国家試験対策授業117, 118
	20	国家試験対策授業39, 40	60 国家試験対策授業119, 120
	21	国家試験対策授業41, 42	61 国家試験対策授業121, 122
	22	国家試験対策授業43, 44	62 国家試験対策授業123, 124
	23	国家試験対策授業45, 46	63 国家試験対策授業125, 126
	24	国家試験対策授業47, 48	64 国家試験対策授業127, 128
	25	国家試験対策授業49, 50	65 国家試験対策授業129, 130
	26	国家試験対策授業51, 52	66 国家試験対策授業131, 132
	27	国家試験対策授業53, 54	67 国家試験対策授業133, 134
	28	国家試験対策授業55, 56	68 国家試験対策授業135, 136
	29	国家試験対策授業57, 58	69 国家試験対策授業137, 138
	30	国家試験対策授業59, 60	70 国家試験対策授業139, 140
	31	国家試験対策授業61, 62	71 国家試験対策授業141, 142
	32	国家試験対策授業63, 64	72 国家試験対策授業143, 144
	33	国家試験対策授業65, 66	73 国家試験対策授業145, 146
	34	国家試験対策授業67, 68	74 国家試験対策授業147, 148
	35	国家試験対策授業69, 70	75 国家試験対策授業149, 150
	36	国家試験対策授業71, 72	
	37	国家試験対策授業73, 74	
	38	国家試験対策授業75, 76	
	39	国家試験対策授業77, 78	
	40	国家試験対策授業79, 80	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験、授業への参加姿勢による総合評価		
備考			